



## 編集用オブジェクトの必要時バックアップ

空間データエディタの新しい自動バックアップ機能について、テクニカルガイド「編集時の自動バックアップオプション (*Automatic Backup Options When Editing*)」で紹介しています。バックアップは最適化もせず、検索ツリーの再構築もしないので、保存より速く終わります。そのため自動バックアップ機能は保存タイマー (Save Timer) によって促される定期的な保存と比べて作業の中断の回数が少なくなります。自動バックアップはエディタにおいて指定した時間が経過した後や、変更を加えてから無操作のまま一定時間経過した後に動作します。バックアップを行う時間はこれらの事前にセットされるタイマーに関係ありません。〈空間データエディタ〉ウィンドウの [File (ファイル)] メニューから [オブジェクトのバックアップ (Backup Objects)] を選択すると、すべての編集レイヤを即時にバックアップできます。これは問題の起こった箇所を調べる際に便利です。

